

第七次行政改革大綱

推進計画一覽

【推進計画一覧】

No.	推進計画	担当課
111	公民連携の推進	企画課
112	公立保育園の認定こども園化及び民営化の推進	こども課
113	公立幼稚園の認定こども園化	こども課
114	管路施設の予防保全に向けた包括的民間委託	下水道課
115	道路・河川・水路維持補修の包括民間業務委託【新規】	道路河川課
121	公共施設等マネジメントの推進	財政課
122	市有施設におけるエネルギー使用量の削減	地球環境課
123	ごみの減量化	地球環境課
124	公園樹木の再配置・再生計画の検討と実施	緑のまち推進課
125	公園の管理運営計画の見直し	緑のまち推進課
126	市民ニーズに応えるべき施設改修	スポーツ振興課
131	ガバメントクラウドファンディングの実施	企画課
132	ネーミングライツの推進	企画課
133	自動販売機設置による市有財産の有効活用	財政課
134	未活用財産の有効活用	財政課、産業政策課
241	窓口サービスの改善・改革	企画課、関係課
251	効率的かつ機能的な組織・機構づくり	企画課
252	職員提案制度の促進	企画課
253	多様な人材の確保と研修の充実	人事課
254	働き方改革の推進	人事課
261	ICTによる業務の省力化・効率化	企画課
262	ネットワーク更新計画の策定	企画課
263	電子決裁システムの導入	行政課
264	行政手続における押印の見直し	企画課、行政課
265	財務帳票（伝票）の電子データ化	出納室
266	介護保険認定審査会のオンライン化	介護保険課
267	保育ICTシステムの導入【新規】	こども課
268	試験の採点支援システムの導入【新規】	学校教育課

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目①公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	公民連携の推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>公民連携の代表的な手法として、指定管理者制度やPFIがあるが、2019年4月1日現在、本市の施設で指定管理者制度が導入されている施設は3施設、PFIについては1施設となっている。</p> <p>職員数が限られた中で多様化・複雑化する市民ニーズに対応するためには、「民間資本・ノウハウを活用し、サービスの向上・効率化を図る」公民連携の推進は必要不可欠なものである。</p>
計画の内容と目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携による公共サービスの提供を検討する等、公民連携を広い範囲で捉え、その手法や活用方法について他市の事例や動向を参考にしながら調査研究を行う。 ・調査研究の結果、具体的な活用が可能なものについては、関係課と連携して活用を進める。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
C	<p>国においては、「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針」を定め、公共施設等の管理者は、本指針に基づき、それぞれ管理する公共施設等について、優先的検討規程を定め、これに従って優先的検討を行うものとして、人口10万人以上の地方公共団体に対して優先的検討規程の策定を要請し、人口10万人未満の地方公共団体に対しても必要に応じて同様の取組を要請している（令和3年6月21日付内閣府・総務省通知）。</p> <p>本市においても公民連携推進のため、庁内体制の整備と合わせ、規程策定に向けた検討を進めてきた。</p>
財政効果額	千円
令和7年度取組目標	
<p>PPP/PFI手法の活用が国により推進されており、新たに人口5万人以上10万人未満の地方公共団体に対しても優先的検討規程の策定が要請された（令和7年6月4日付け内閣府・総務省通知）ことから、PPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定に向けて取り組むとともに、推進体制についても引き続き研究・検討を進める。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目①公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
こども課	公立保育園の認定こども園化及び民営化の推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>核家族化の進行や女性の社会進出の増加により、少子化でありながら多種多様な保育の需要は高い水準が続いており、待機児童が発生している。</p> <p>現在、市内には、公立保育園9園、私立保育園5園、私立認定こども園2園、公立幼稚園5園、私立幼稚園1園あるが、公立保育園の待機児童と公立幼稚園の小規模化を解消するためには、適正な規模での教育・保育施設への再編が必要と考える。</p> <p>また、三位一体改革の時より、保育園の運営にかかる経費の一般財源化や施設整備費の削減により市の財政負担は大きく、更に令和元年10月1日より幼児教育保育の無償化がスタートしたことで、より一層の厳しい財政状況になっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>就学前の教育・保育のあり方を検討、方針を策定する。</p> <p>更に、安心安全な子育てができる環境にするため、幼保一体化や民営化を進めていく。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	—	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	<p>【南保育園・南幼稚園 認定こども園化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主な委託 南こども園整備工事監理業務委託(9,735千円) 旧南保育園解体工事ほか設計業務委託(2,828千円) ○主な工事 南幼稚園園舎解体工事(51,359千円) 南こども園整備工事(建築・電気設備・機械設備)(824,197千円) 南こども園遊具設置工事(8,173千円) ○主な備品購入 南こども園厨房機器(10,038千円) ○南こども園新園舎に係る保護者向け説明会・内覧会 各1回 <p>【民営化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民営化事業者選定等委員委嘱状交付式 ○民営化事業者選定等委員会 6回 ○提言書手交式(提言書、募集要項、審査基準) ○民営化事業者募集現地説明会 1回 ○保護者向け説明会 1回 ○保育士向け説明会 1回 ○市内私立園への説明 2回
財政効果額	千円
令和7年度の取組目標	
<p>認定こども園化事業については、旧南保育園園舎解体工事及び南こども園駐車場整備のための外構工事を行う。</p> <p>民営化事業については、渡瀬保育園、成島保育園の民営化事業者を決定し、事業者説明会や引継保育などの引渡準備を行う。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目①公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
こども課	公立幼稚園の認定こども園化

2. 計画の概要

現状と課題	
公立幼稚園で利用者数が年々減少し、各園で定員を大きく割る状況となっている。	
・北幼稚園	利用者97名/利用定員180名 53.9%
・南幼稚園	利用者60名/利用定員160名 37.5%
・東幼稚園	利用者23名/利用定員 80名 28.8%
・杉並幼稚園	利用者59名/利用定員160名 36.9%
・西幼稚園	利用者64名/利用定員160名 40.0%
※令和元年11月現在	
計画の内容と目指す姿	
保育機能を持たせた認定こども園とすることで、待機児童の解消、働く世帯の子育て支援、適切な保育と教育の提供を行い、子育て環境のさらなる充実に資する。 認定こども園のタイプや対象園については、関係する部署と検討を加えていく。 ※令和3年度に「就学前の教育・保育のあり方方針」策定完了	

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	—	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	【南保育園・南幼稚園 認定こども園化事業】 ○主な委託 南こども園整備工事監理業務委託(9,735千円) 旧南保育園解体工事ほか設計業務委託(2,828千円) ○主な工事 南幼稚園園舎解体工事(51,359千円) 南こども園整備工事(建築・電気設備・機械設備) (824,197千円) 南こども園遊具設置工事(8,173千円)
財政効果額	○主な備品購入 南こども園厨房機器(10,038千円) ○南こども園新園舎に係る保護者向け説明会・内覧会各1回
千円	
令和7年度の取組目標	
認定こども園化事業については、旧南保育園園舎解体工事及び南こども園駐車場整備のための外構工事を行う。	

◆進捗状況の基準

—	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目①公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
下水道課	管路施設の予防保全に向けた包括的民間委託

2. 計画の概要

現状と課題
<p>・本市における下水道施設において、老朽化施設の急増による機能への影響とその対策が懸念されている中、下水道管路施設においては、老朽化に起因する道路陥没が発生しており、その対策についても急務となっている。</p> <p>・現在、予防保全型の維持管理を実施するためにストックマネジメント計画を策定しているが、事業を推進するために必要なノウハウのある人員及びこれまで以上に必要となる財源の確保が課題となっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>・これまで個別に委託していた管理業務をまとめて複数年契約により発注し、スケールメリット等によるコスト及び事務量の縮減を図る。</p> <p>・民間の創意工夫及びノウハウを活用し、業務の効率化を図ることで、管理業務にあっていた人員を固有事務(事業計画策定、接続促進及び料金徴収等)に重点配置する。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
B	<p>・市内に多数存在する汚水処理施設及びその運営における現状を踏まえた課題を整理。</p> <p>・管路及び処理場施設の維持管理状況等の整理。</p> <p>・複数の経営指標によるヒト・モノ・カネの分析。</p> <p>・上記を踏まえ、導入が望ましいウォーターPPPの対象範囲、施設及び業務等の比較検討をし、スキーム案の概略評価を実施。</p>
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
<p>・国交省より、令和8年度末までに新たな官民連携手法である「管理・更新一体マネジメント方式(ウォーターPPP)」を導入決定することが目標として掲げられたため、令和6年度に整理した基礎情報を踏まえ、民間サウンディングを含めた導入可能性調査等を実施する。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目①公民連携の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
道路河川課	道路・河川・水路維持補修の包括民間業務委託

2. 計画の概要

現状と課題
<p>社会インフラの老朽化に伴い、維持補修に関する要望が増えており、今後さらに増加することが予想されている。近年の気候変動の影響による自然災害の激甚化、頻発化も同様に増加傾向にある。</p> <p>また、従業員の高齢化や若者の入職離れなどにより社会資本整備の一役を担う建設業界において人材確保が困難になってきている。</p> <p>従来型の維持管理体制を継続することが難しくなっており、新たな体制の構築が急務となっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>1.包括性:これまで個別に発注していた業務を一括発注することにより業務効率の向上を図る。</p> <p>2.長期契約:会計年度によって切れ目が生じることがない安定した行政サービスの提供を行う。</p> <p>3.民間技術活用:性能発注に基づく柔軟な対応と新技術の導入など適切な維持補修に努める。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	—	—	—	—	—	検討・準備
実績	—	—	—	—	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
B	包括化導入へのアプローチの一つとして、維持補修業務頻出項目の内の一つについて歩掛を作成し、積算方法を標準化した。
財政効果額	
千円	
令和7年度の取組目標	
<p>1.市内建設業者との意見交換</p> <p>2.委託エリア区分の設定</p> <p>3.委託業務に求める性能基準の設定</p> <p>4.包括業務委託価格の決定</p> <p>5.提案型発注におけるタイムスケジュールの作成</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課	公共施設等マネジメントの推進

2. 計画の概要

現状と課題
<p>現下の厳しい財政状況の中、公共施設等の老朽化対策は大きな課題であり、これからの公共施設等の維持管理は、「新しく造ること」から「賢く使うこと」へ方向を変えていく必要がある。そのため本市では、平成29年2月に「館林市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の整備や維持管理の方向性を定めた。</p> <p>現在、公共施設等マネジメント推進庁内委員会を設立し、より具体的な公共施設の管理方針を定める個別施設計画の策定に着手している。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>館林市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画にもとづき、予防保全による無駄のない施設管理と変化する市民ニーズに応える質の高い行政サービスを提供できる施設運営を推進する。</p> <p>また、立地適正化計画や都市計画マスタープラン等の各種計画と連動した施設の再配置を計画し、コンパクトシティの実現による持続可能なまちづくりを目指すため、「公共施設等総合管理計画」を改訂し、公共施設等マネジメントの推進体制を整える。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	令和5年度に施設の評価手法を定量評価と総合評価の2段階で行うことを決定し、令和6年度は、定量評価で抽出された15施設について総合評価を行い、庁内委員会として方向性案を決定した。その後、庁議へ報告、行政改革推進本部で市としての方向性を決定した。
財政効果額	結果：廃止1、集約化1、転用1、当面継続12
千円	
令和7年度の取組目標	
<p>定量評価で抽出された14施設の総合評価を行い施設の方向性の決定を行うなど「公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設マネジメントを推進していく。</p> <p>また、「公共施設等全体個別施設計画」について、令和3年3月に策定してから5年が経過し改訂年(令和8年3月)となるため、改訂作業を進めていく。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
地球環境課	市有施設におけるエネルギー使用量の削減

2. 計画の概要

現状と課題
市有施設におけるエネルギー使用量を削減し、温室効果ガス排出量の削減、及び維持管理経費の削減を図るため、現在館林市環境マネジメントシステムの省エネルギー標準手順書により、組織及び全職員の取り組むべき対策が定められているものの、一層の削減のための更なる取り組みが必要である。
計画の内容と目指す姿
「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(省エネ法)に定められた、年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減を達成するため、市有施設におけるエネルギー管理標準の作成及び運用改善を推進する。 また、市有施設の設備機器を更新する際に、省エネ・低炭素型機器(LED照明等)の導入を推進する。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
—	市有施設で14件の更新等工事を行い、省エネ・低炭素型設備機器を導入した。(設計金額300万円以上の工事)
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
館林市低炭素設備機器等導入指針について、庁内周知を図る。老朽化した空調機器や照明設備を更新する際に、順次省エネ・低炭素型設備機器を導入していく。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
地球環境課	ごみの減量化

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市のごみ処理費用は、広域処理施設の建設費を含め、年間約10億円規模で推移してきているが、減量化による処理費用の抑制が必要となっている。</p> <p>また、ごみステーションに排出される家庭ごみは、直接的な費用負担を伴わないため、安易なごみの排出になりやすく、減量化が進みづらい状況にある。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>従前からの3Rの普及啓発や助成事業といった取組に加え、生ごみ減量化として、食品ロス削減の取組のさらなる拡充を図っていく。</p> <p>また、ごみ処理費用の分析・評価を行い、ごみ袋の有料化等の排出量に応じた費用負担の仕組みを導入することで、住民の意識改革を促し、循環型社会の構築及びごみ処理費用の抑制を図る。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	実施・完了	実施・完了
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
D	<ul style="list-style-type: none"> ・館林市廃棄物減量等推進審議会を開催し、委員が改選されたことから、改めて令和5年2月に策定した「館林市ごみ処理基本計画」の進行管理について審議していただいた。 ・館林市廃棄物減量等推進員会議を開催し、新任者向け研修の中で、ごみの減量化等について発信、意見交換を行った。
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・館林市廃棄物減量等推進審議会を開催し、ごみ処理基本計画及び食品ロス削減推進計画における取組状況の確認及び審議の実施を継続し、新たにごみ袋の有料化等の諮問も行い、導入に向けた検討を開始する。 ・館林市廃棄物減量等推進員会議を開催し、ごみ減量化とマナー向上を市民に周知する方法を考えるワークショップ等を実施する。 	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
緑のまち推進課	公園樹木の再配置・再生計画の検討と実施

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市の公園は、昭和40年代以降急速に整備された。当時植栽された樹木が40年以上経過して大きく成長し、巨木化している。また、公園をとりまく社会状況の変化、市民要望の多様化などから、特に住宅地に設置された身近な公園において様々な問題が発生している。落下枝や花粉・綿毛・落ち葉の飛散、病害虫・鳥の糞、枝葉の越境や日照障害、根の侵入による施設破損等に対し、近隣住民から苦情や剪定・伐採要望が多く寄せられている。そのため、第六次行政改革大綱において、公園樹木等の緑をとりまく現況を調査・把握し、健全な樹木の育成及び緑の質の向上を目的とした計画的・効率的な維持管理の考え方や手法を検討し、公園樹木の取扱い方針を策定した。今後は方針に基づき、個別の公園の樹木のあるべき姿に向けた具体的な計画の検討と実施が必要となっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>公園の緑は都市景観の向上、自然との触れ合いの効果に加え、暑さ対策においても有益であることからある程度は維持、場合によっては向上に努める必要がある。しかしながら、これまでの緑の量＝樹木の量という考えではなく、危険性がある樹木や支障がある樹木については伐採や間伐を行い、緑の量の確保や補う方法として、芝等の地被植物を植栽することも有効と考える。</p> <p>第六次行政改革大綱において策定した「公園樹木の取扱い方針」に基づき、隣接する住宅等その公園を取り巻く周辺環境や、公園施設に合わせた樹種や配置の見直し、樹高の低減による樹木の再生を検討し、計画的に実施していくことで、「適切な範囲内での緑被率の確保」と、「再配置や再生後の樹木の維持管理コストの縮減」の両立を目指す。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	公園樹木の取扱い方針に基づき、公園樹木の健全な育成を図り、適切な維持管理に努めた。一方で、巨木化・老木化が進行しており、強風や台風による枝折れや倒木、民地への越境や電線への接触、病害虫被害による衰弱が進む樹木もあり、強剪定や、やむを得ず伐採となった樹木もあった。
財政効果額	千円
令和7年度取組目標	
令和6年度に対応できなかった公園について、継続して樹木の管理を行い、巨木化や害虫被害が進む状況に対応し、安全・安心な公園になるよう努めたい。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
緑のまち推進課	公園の管理運営計画の見直し

2. 計画の概要

現状と課題
<p>本市の都市公園は昭和40年代以降の区画整理事業等により整備されており、開設から30～40年程経過した公園が多数を占めているため、施設の老朽化による維持管理コストの増加が課題となっている。</p> <p>現在、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を進めているが、膨大な数の公園施設を計画通りに維持、更新していくことは、現在の財政状況を踏まえると非常に困難な状況であるため、計画の見直しが必要となっている。また、過去の公園整備では人口増加の時代に対応するために多くの公園が画一的又は同様の機能を有するものとなっていることから、現在おかれている人口減少、少子高齢化や市民ニーズの多様化・高度化などの社会情勢の変化に対応できておらず、公園に求められる「機能や役割」と公園の「管理運営の実態」との乖離が顕著なものとなっている。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>老朽化した施設の長寿命化計画を見直すとともに、画一的な公園を多様化する市民ニーズに対応させるために必要な利活用方法の検討や公園機能の再編を進めていくこともあわせて求められている。そのためには、時代の変化や市民にニーズに対応できる将来の公園のあるべき姿を検討した上で計画を見直し、持続可能な公園の維持管理・運営を目指す必要がある。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	<p>公園施設の老朽化に伴う施設改修を進めた。特に、公共施設の脱炭素化を推進するため、公園園路灯のLED化を進めた。LEDランプは、消費電力も少なく、CO2の排出も抑えられ、寿命も長く、交換回数も抑えることができる。</p> <p>50箇所の公園施設や緑道の194台の園路灯をLED照明に交換した。</p> <p>また公園便所のブース改修や小便器交換、遊具修繕やフェンスの修繕を行った。</p>
財政効果額	千円
令和7年度の取組目標	
<p>昨年度に引き続き、公園園路灯のLED化を進める。また公園施設の長寿命化を図るために、修繕や老朽化した遊具などの撤去を、引き続き行う。</p> <p>さらに、社会資本整備総合交付金事業を活用し、近藤沼公園のジャブジャブ池や遊具の改修工事を行う。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目②歳出の抑制

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
スポーツ振興課	市民ニーズに応えるべき施設改修

2. 計画の概要

現状と課題
市内スポーツ施設の多くは建設から約40年以上が経過しており、老朽化の進む各施設においては、多様化する市民ニーズへの対応や競技力向上に繋がる環境整備にいたらないため、市民満足度は厳しい状況となっている。多様化する市民ニーズに応えるためには、各施設を計画的に改修等を進め、利便性向上を図る必要がある。
計画の内容と目指す姿
市民ニーズを踏まえた施設整備を進めることにより、利用者へ多くの利益をもたらすものと考えられる。 このため、利便性向上に繋がる計画的な施設整備改修等を進めるとともに、受益者負担の観点から、利用者への適正な負担として施設使用料の見直しを図る。設備の改修で施設に付加価値が付き、利便性の向上がなされた場合の料金設定に取り組む。 〔施設使用料の設定が必要となる改修工事〕 R5～R6年度：ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	—	検討・準備
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	実施・完了	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	ダノン城沼アリーナについて、利用者が一年を通じ快適にスポーツを楽しめるよう、昨年度に引き続き、ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事に取り組み、令和6年7月末に完成させた。翌月の令和7年8月から、利用者に適正な負担を求めべく改定した施設使用料での運用を開始した。 その他、ダノン城沼アリーナ南側外壁改修工事や構内電話交換設備等の改修工事を実施した。また、利用者の更なる利便性の向上を図るべく、ダノン城沼アリーナへのエレベーター設置、並びにLED照明設備改修工事のための実施設計を行った。
財政効果額	千円
令和7年度の取組目標	
ダノン城沼アリーナのバリアフリー化に伴うエレベーター設置や設備の更新によるLED照明等の改修工事に取り組む。 その他、ダノンスポーツパーク内の各施設についても老朽化に伴う改修に向け、対象となる補助金等を調査しながら、検討・準備を進めていく。	

◆進捗状況の基準

—	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ガバメントクラウドファンディングの実施

2. 計画の概要

現状と課題
現在、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディング(以下、GCF)の取組が全国の自治体で行われている。 財源確保が難しい中でGCFは効果的な取組であると思われるが、本市においては行われていない状況である。
計画の内容と目指す姿
GCFの効果を十分に検証したうえで、関係課との協議を進めながら実施を目指す。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
—	ふるさと納税制度(CF型ふるさと納税を含む)を活用した市民提案制度を立ち上げ、公募を行った。 しかしながら、申請段階まで到達したものはなかった。 【(参考)過去における実績】 [令和2年度] 《プロジェクト名》新型コロナウイルス対策&つつじ保護育成プロジェクト 《募集期間》令和2年6月10日～9月7日 《目標金額》2,000,000円 《寄付金額》1,170,000円(達成率58.5%)
財政効果額	千円
令和7年度の取組目標	
市の事業においてGCFの活用を検討するとともに、GCFを含むふるさと納税制度を活用した市民提案制度について、引き続き周知を行う。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ネーミングライツの推進

2. 計画の概要

現状と課題
人口減少や少子高齢化の進行に伴い、市の歳入の増加が見込めない現状となっていることから、自主財源の確保が求められている。そこで、本市では「ネーミングライツ」を2施設(令和元年時点)に導入している状況である。
計画の内容と目指す姿
導入施設を増やすとともに、募集方法の工夫やスポンサー企業との協力による新たな地域活性化の在り方の検討など、ネーミングライツがより一層効果的になるような取組みを実施する。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
—	令和7年3月31日時点で、計5施設にネーミングライツを導入済。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 館林市文化会館大ホール(館林市文化会館カルピス®ホール) 期間:R6.9.1~R11.3.31 ネーミングライツ料:年額150万円(税抜) ■ 城沼総合運動場(ダノンスポーツパーク) ※城沼総合体育館(ダノン城沼アリーナ)を含む 期間:R7.1.1~R11.12.31 ネーミングライツ料:年額300万円(税抜)
財政効果額	<ul style="list-style-type: none"> ■ 館林三の丸芸術ホール(日清製粉ウエルナ三の丸芸術ホール) 期間:~R5.4.1~R10.3.31 ネーミングライツ料:年額100万円(税抜) ■ 中央公園(ピオスリーHi錠 中央公園) 期間:R7.4.1~R12.3.31 ネーミングライツ料:年額100万円(税抜) ■ 高根運動場(ブルドックTCCフィールド高根) 期間:R7.4.1~R12.3.31 ネーミングライツ料:年額80万円(税抜)
7,300千円	
令和7年度の取組目標	
導入施設を増やし、更なる自主財源の確保に努める。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課	自動販売機設置による市有財産の有効活用

2. 計画の概要

現状と課題
行政財産への自動販売機設置については、地方自治法の一部改正によって、貸付範囲が拡大されたことから、積極的に運用を図っている自治体が増えている。本市においても、市有財産のうち庁舎その他の建物及びそれらの敷地の余裕がある部分を貸し付け、自動販売機を設置させるための入札の実施をスタートした。
計画の内容と目指す姿
施設の利用状況等を踏まえながら、自動販売機の設置による市有財産の有効活用を推進し、歳入の確保及び市民サービスの向上を図る。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	継続実施	継続実施	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施
実績	継続実施	継続実施	実施・完了	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	令和6年度設置箇所：13箇所（継続13箇所）
財政効果額	千円
令和7年度の取組目標	
各課に照会するなど、引き続き市有施設の設置可能箇所を調査し、新規設置を目指す。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目③歳入の確保

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
財政課、産業政策課	未活用財産の有効活用

2. 計画の概要

現状と課題
<p>現下の厳しい財政状況の中、未利用地・低利用地の管理費は確実に削減すべき費用であり、建物の低利用スペースは転用・貸付等により有効に活用し、新たな自主財源を確保しなければならない。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>積極的に未利用・低利用財産を選定し、売却、貸付等による活用を推進することで新たな自主財源を確保する。 資産活用に当たっては、PPP/PFI等による公民連携を推進し、また、国・県所有の資産を含めた活用を検討しエリアマネジメントを推進する。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	<p>《財政課》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有地の売払い(1件) ・不用道路等の売払い ・庁舎等の使用料 ・その他市有地の貸付 <p>・財政課管理の「旧松沼町第3住宅用地」について、これまで売却に至らず利活用できていなかったため、売却から貸付に利活用方法を変更し、一般社団法人館林アーバンデザインと公的不動産利活用促進基本協定に基づく協議書を取り交わし、貸付に向けて進めた。</p>
財政効果額	<p>《産業政策課》</p> <p>旧公社保有地について、売却交渉・入札を実施。 (結果：不調) ※旧公社解散時に売却面積は約4.2haであったが、これまでに約2.5haを売却している。</p> <p>現在、約0.9haの土地が未処分となっている。 (約0.8haは行政財産として所管替え)</p>
令和7年度の取組目標	
<p>《財政課》未利用・低利用財産については、売却、貸付等による積極的な活用を行うため、処分が見込める土地については、処分方法や条件の検討を進める。また、建物の余裕部分の貸付の可能性について他の自治体の事例等も確認しながら研究を進める。</p> <p>《産業政策課》一般競争入札や個別交渉を継続し、売却を進めてきたが、未処分となっている土地は形状が悪い、狭小、隣接地権者しか利用できないなど、売却が困難なもの。内容精査のうえ、状況によっては利活用できない決断をしていく。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目④窓口業務の効率化

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、関係課	窓口サービスの改善・改革

2. 計画の概要

現状と課題
「市民の目線に立った、より便利で使いやすい市役所をつくるため」、「職員数の増加が見込めない中、多様化・複雑化する市民ニーズに適切に対応するため」窓口サービスの改善・改革は必要なものだと考えられる。
計画の内容と目指す姿
窓口の混雑を緩和し、効率的な窓口サービスを提供するため、ワンストップ窓口設置の研究やマイナンバーカード活用によるコンビニエンスストアでの住民票、税証明書発行など、様々な手法を検討し、窓口業務を改善する。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	検討・準備	実施・完了	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	<p>◎スマート窓口導入事業(企画課、財政課、1階10課) 令和5年8月から、標記部署にて構成する窓口改革プロジェクトを発足し、令和6年12月に「窓口業務支援システム実装」「1階フロアレイアウトリニューアル」「フロアコンシェルジュ配置」を3本柱を実装し、市民サービスの向上を図った。</p> <p>◎「総合案内」へのパソコン・iPadの設置(市民協働課) 「総合案内」にパソコン(令和6年5月から)及びiPad(令和6年12月から)を設置したことにより、市民等の問い合わせに対する迅速な情報確認・回答のほか、外国人に対する翻訳ツールの使用が可能となり、案内時間が短縮され、市民サービスの向上に繋がった。</p>
財政効果額	<p>◎「おくやみ手続きナビ」の導入(市民協働課) 令和6年8月からWEBサービス「おくやみ手続きナビ」を導入したことにより、パソコン・スマートフォンから簡単な設問に回答することで必要な手続き及び窓口・必要書類等を事前に把握することが可能となった。これにより、これまで予約制のおくやみ相談窓口で案内していた各種手続きに必要な情報を、自宅で手軽に得られるようになった。</p> <p>◎コンビニ交付の普及啓発 コンビニ交付発行部数(うち、庁内キオスク端末発行部数) 住民票: 10,077件(1,457件) 印鑑証明書: 7,340件(1,443件) 所得・課税証明書: 655件(51件)</p>
千円	
令和7年度の取組目標	
<p>◎スマート窓口の推進 令和6年12月に市庁舎1階に導入した「スマート窓口事業(「書かない窓口」端末の導入、1階フロアレイアウトのリニューアル、フロアコンシェルジュ(窓口案内員)の配置)」による窓口来庁者の利便性向上及び職員の業務効率化を推進する。</p> <p>◎コンビニ交付の普及啓発 マイナンバーカードの活用によるコンビニエンスストアでの各種証明書発行について、引き続き周知に努め、利用者の増加による窓口の混雑緩和を図っていく。</p> <p>◎基幹系システムの標準化 標準準拠システムの端末を窓口を設置し、窓口対応の効率化を図る。</p>	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	効率的かつ機能的な組織・機構づくり

2. 計画の概要

現状と課題
社会状況の複雑な変化や、多様化・高度化する市民ニーズを踏まえ、本市が目指すべき将来像を実現していくために、効率的・効果的な組織・機構づくりが求められている。
計画の内容と目指す姿
多様化・高度化する住民ニーズに対応し、総合計画の政策目的の達成及び重要施策の強力な推進を図るために最善の組織をつくる。また、限られた人員や財源のなかで、類似した業務・目的を持つ部署等の整理を進め、効率的かつ機能的な組織づくりを進める。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	早急に対応すべき施策に対応するとともに、組織の効率化を図るため、部の再編や係の新設など機構改革及び配置定員の変更等を行った。 定員管理については、従来の課単位でのマネジメントから部単位のマネジメントに改め、より効果的な職員配置の検討に努めた。
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
第6次総合計画の円滑な推進のため、各部(課)への調査やヒアリングを実施することにより新たな課題を抽出し、効果的な組織づくりを実施する。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	職員提案制度の促進

2. 計画の概要

現状と課題
本市の職員提案制度は昭和52年から始まっているが、近年、提案件数も少なく、提案があったとしてもそれが実施まで至っていない状況である。市民サービスの向上を図っていくためには、職員が創意工夫を行い、前向きに改革改善に取り組んでいくことが重要であると考えられる。
計画の内容と目指す姿
職員提案制度を活性化させることで職員の改善意欲の増進や自己能力の開発及び職員相互の啓発を図ることを目的とする。 内容としては、職員提案規程の改正や提案発表の場の規模の拡大などが考えられるが、他市の取組を参考にし、可能な取組から順次実施していく。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	《提出件数》1件 提出された職員提案について、行政改革推進本部会議にて審査を行った。 ○審査結果 表彰対象 なし
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
引き続き政策提案及び改善成果報告の提出を促進する。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
人事課	多様な人材の確保と研修の充実

2. 計画の概要

現状と課題
人口減少に伴う労働力不足により、人材の確保は今後一層厳しくなる中、少数精鋭の組織運営を行っていくために、有能な人材を確保し、継続的、効果的な研修により、職員の資質向上を図る。
計画の内容と目指す姿
新卒採用に加え、経験者採用や新たな人材の発掘方法など、多様な採用制度の導入を検討し、有能な人材を確保する。 階層別研修や専門研修など、研修の機会、内容を充実し、担当業務の修得だけでなく、中長期的な視点を持った人材を育成する。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	採用試験の受験条件の緩和や、本市職員を過去に退職した職員を対象とした「キャリアリターン」採用試験を実施。労働移動の活発化に合わせて採用試験を実施した。 特に、10月1日付け採用では、例年1～2名の採用にとどまっていたが、10人の職員を採用することができた。
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
労働移動の増加に対応するため、採用試験の見直しを行い、多様な人材の確保に努める。 民間企業等と連携した研修を実施し、職員の資質向上を図る。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑤人材投資と組織力の向上

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
人事課	働き方改革の推進

2. 計画の概要

現状と課題
働き方改革は、ワークライフバランスを実現することにより、職員がその能力を最大限発揮し、生産性の高い行政運営を行うために取り組むべき課題となっている。
計画の内容と目指す姿
<p>職や業務の見直し、効率化によって職場の生産性を高め、長時間労働の是正や年次有給休暇等の取得を促進し、ワークライフバランスを実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの実現に向けた職員の意識改革 ・「時間外勤務縮減の一層の推進にかかる指針」に基づく具体的な行動の推進 ・男女ともに活躍できる職場環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 管理監督職への女性登用・男性職員の育児休業取得促進 時差出勤や育児休業、介護休暇等、働き方の多様化への対応 有給休暇の取得促進

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
実績	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	時間外勤務縮減会議で、各所属の時間外勤務状況等を報告。 出退勤管理システムの活用により、時間外勤務の状況を個別に調査し、長時間労働の是正に取り組んだ。 育児休業制度を紹介するパンフレットを作成し、制度の周知に努めた。また、令和7年4月1日施行の休暇制度の改正（子の看護休暇の年齢要件緩和等）を行った。
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
出退勤管理システムのデータを活用し、職員の働き方の見える化を図る。職員の意識改革と管理監督職のマネジメントに活用する。 男性職員の育児休業や介護休暇等、制度の周知を図り、ワークライフバランスの取れた働きやすい職場作りを進める。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、関係課	ICTによる業務の省力化・効率化

2. 計画の概要

現状と課題
権限委譲や職員数の増加が見込めない中、限られた人数で今まで以上の業務が求められる一方で、働き方改革による長時間労働の是正も課題となっており、さらなる省力化・事務の効率化が必要となっています。
計画の内容と目指す姿
ICTの利用による省力化を実現するため、RPAやAI等の導入による効率化を検討し、関係課と協力の上進めることで効果的な利用を模索し、業務での活用を目指す。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	令和5年度より、外部専門人材として「DX推進アドバイザー」を活用し、業務効率化や市民サービスの向上につながる新規取組を実施。以下は、代表的な取組。 ・スマート窓口（書かない窓口）の導入 ・生成AIの導入及び生成AI利活用の協定締結 ・市公式LINEの運用 （友だち登録者：11,115人【R7.3月末時点】） ・電子申請システムのリニューアルによる電子申請数増加（R6：41,368件、R5：5,620件） ・DX推進員を活用した「DXコンテスト」の実施
財政効果額	千円 その他、継続取組として、AI議事録システムを用いた会議録作成の自動化やAI-OCR及びRPAを活用した職員の手作業の自動化を行い、業務効率化を図った。
令和7年度の取組目標	
外部専門人材「DX推進アドバイザー」及び「DX推進員」を活用し、全庁的な業務効率化に取り組む（以下、代表例）。 ・ノートPCや大型モニターを活用したペーパーレスの推進 ・電子申請や公式LINEを活用した行政手続オンライン化の強化 ・AI議事録、AI-OCR及びRPA利用業務の拡充による業務効率化 ・生成AIを活用した業務効率化	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課	ネットワーク更新計画の策定

2. 計画の概要

現状と課題
ICTが必要不可欠となり、庁内外との連携も重要度も増す中、市内に敷設してきた光ケーブルが20年以上経過し老朽化してきているため、今後通信に不具合が出ることによる自治体運営への重大な影響が懸念される。
計画の内容と目指す姿
現在自庁で保有している光ケーブルのあり方を見直し、新たにネットワーク更新方法を検討し、コストとメンテナンスにかけている手間が削減できる、安定したネットワーク構築手段の計画を策定する。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備
実績	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
B	現在使用しているネットワークに係る費用の算出と、利用できるネットワークの選出や検討を進めている。
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
保有する設備の取り扱いについて、切替え時の処理対応を検討する。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
行政課	電子決裁システムの導入

2. 計画の概要

現状と課題
<p>○多様化する行政サービスのニーズによる様々な新規事業の立上げ等に伴う事務量の増加 →多様化、複雑化する事務を効率的に処理していかなければならない。</p> <p>○行政が保有する公文書に対する適正管理が求められている。→情報公開制度の適切な運用及び更なる充実を図る。</p> <p>○結果(処分)に対する説明責任及び組織の意思決定のスピードが求められている。 →合議、決裁事務の迅速化及び効率化を図る。</p> <p>○増え続ける永年保存文書等を適切に管理、保管しなければならない。 →電子データの活用及びペーパーレス化を図る。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>事務処理の効率化、保有する行政文書の適正管理、組織としての意思決定の迅速化及び紙の節減等ペーパーレス化を図るため、電子決裁の導入を図る。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
—	<p>○令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月22日:電子決裁システムの構築開始 ・システムベンダーとの協議 ・9月29日:庁内ワーキンググループ始動 ・電子決裁システムの基本設定、運用方法等について議論(全6回開催) ・1月23日～職員研修(三役及び幹部職を含む。)の実施 ・電子決裁システムの仮稼働開始 ・2月20日:電子決裁システムの本稼働開始(導入完了)
財政効果額	<p>○令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月16日:文書主任会議で電子決裁の推進を改めて周知 ・随時に各課からの電子決裁システムへの質問を受け付けている。 <p>○令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月25日:文書主任会議で電子決裁の推進を改めて周知 ・随時に各課からの電子決裁システムへの質問を受け付けている。
千円	
令和7年度の取組目標	
引き続き、行政課主催の会議において電子決裁の周知を行う。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
企画課、行政課	行政手続における押印の見直し

2. 計画の概要

現状と課題
デジタル時代を見据えたデジタルガバメント実現のためには、押印原則、書面主義、対面主義からの決別が喫緊の課題となっている。 国においては、令和2年12月時点で民間から行政への手続の99.4%が押印廃止又は廃止の方向となり、各地方公共団体に見直しのマニュアルが送付されるなど、積極的な取組が行われている。
計画の内容と目指す姿
行政手続のオンライン化を見据え、市民から提出される申請書等において、原則として押印の義務づけを廃止する。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	検討・準備	実施・完了	検討・準備	実施・完了	継続実施	継続実施
実績	検討・準備	実施・完了	実施・完了	継続実施	継続実施	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	○令和3年度 ＜市民から提出される申請等における押印の見直し＞ ・市民から提出される申請等において、原則として押印の義務づけを廃止した。 ○令和4年度 ＜法人等から提出される申請等における押印の見直し＞ ・法人等から提出される申請等において、原則として押印の義務づけを廃止した。 ○令和5年度 ＜庁内文書における押印の見直し＞ ・各課が庁内文書について、押印の見直しを進められるよう相談に応じた。 ○令和6年度 ＜庁内文書における押印の見直し＞ ・各課が庁内文書について、押印の見直しを進められるよう相談に応じた。
財政効果額	千円
令和7年度の取組目標	
引き続き、各課が庁内文書について押印の見直しができるよう相談に応じていく。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
出納室	財務帳票（伝票）の電子データ化

2. 計画の概要

現状と課題
<p>○現在、財務会計システムでは会計事務の全てを紙で行っているため、担当課で起票した伝票を出納室まで持参する必要があり、事務処理が非効率的である。</p> <p>○担当課から出納室に提出される伝票は年間約15万件であり、その膨大な数のコピー用紙が使用されている。また、伝票は10年保管のため、保管用ファイル購入経費、入替作業やその保管場所の問題もある。</p> <p>○担当課から出納室に伝票が提出されているかの問合せの際の探す手間や伝票紛失などの問題がある。</p>
計画の内容と目指す姿
<p>内容：複数の審査担当者がチェックできる機能や審査伝票と請求書等を並べて表示できる機能を作成し、紙伝票と同様の審査事務が可能となるようにする。</p> <p>目指す姿：ペーパーレスにより、コピー用紙やファイリング等消耗品の経費削減やプリントして出納室に持参不用になるため、事務の効率化による人件費の削減及び伝票紛失や情報漏洩の恐れがなくなるためデータ化を図る。</p>

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	—	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備
実績	—	検討・準備	検討・準備	検討・準備	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
B	財務会計システムで電子決裁を行える業者を抽出し、デモの実施によるシステムの確認を行った。必要な仕様の検討と業者選定のための準備を進めた。
財政効果額	
	千円
令和7年度の取組目標	
必要な仕様の検討とシステム業者の選定を進める。変更が必要になる条例・規則等の洗い出しや他部署との調整を行う。	

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
介護保険課	介護保険認定審査会のオンライン化

2. 計画の概要

現状と課題
本審査会は、館林市と邑楽郡5町で共同設置。医療・保健・福祉の専門家を委員とし、火～金曜日に館林市で開催している。現在は、新型コロナウイルス感染症の流行により、書面形式で行っているが、委員間の協議が行いにくく、最終判定を行う医師の負担が大きい。今後対面形式に戻していくが、移動に片道30分以上かかるかたもいる。委員負担を軽減し、また、今回のような感染症が流行した場合にも左右されずに協議できるようにオンラインでの会議を行えるようにする。
計画の内容と目指す姿
移動時間をなくしどこからでも審査会に参加できるよう、審査会のオンライン化を進める。また、機器の扱いが慣れていないなど、審査会会場での参加希望があった場合でも柔軟に対応できるようにする。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	—	—	—	検討・準備	実施・完了	—
実績	—	—	—	検討・準備	実施・完了	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
—	パソコン機器やオンライン会議アプリ、通信環境など、必要な物品を調達し、令和6年7月16日から希望する審査会委員は、オンラインでも審査会に参加できるようになった。
財政効果額	
千円	
令和7年度の取組目標	
—	

◆進捗状況の基準

—	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
こども課	保育ICTシステムの導入

2. 計画の概要

現状と課題
保育現場のICT化推進施策として、公立の保育園及び認定こども園に保育業務を支援するためのシステムを導入し、朝の欠席連絡の集中や保育施設と保護者間の連絡に係るタイムラグを防ぐなど、保護者の利便性向上や職員の業務負担軽減を図る。
計画の内容と目指す姿
保護者は、園への情報伝達を時間・場所を選ばず手軽に行うことができるようになり、連絡忘れを防止するとともに、こどもの看病に専念できるなど、園利用に係る利便性を向上させる。 園は、園児の欠席連絡や登降園の情報を各保育室にいながらリアルタイムで確認できるため、園児の安全管理の実効性を高めることができる。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	—	—	—	—	—	実施・完了
実績	—	—	—	—	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績（※）
B	【新しい地方経済・生活環境創生交付金の申請】 申請合計額(41,407千円) ○ネットワーク環境整備(16,315千円) ○使用料(11,118千円) ○備品(13,974千円)
	財政効果額
	千円
令和7年度を取組目標	
	【保育園・認定こども園への保育ICTシステムの導入 1月稼働予定】 ・ネットワークの構築 ・備品等の調達 ・システムの運用 ・保育士に対する操作研修 ・システムに対する保護者満足度調査

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。

第七次行政改革大綱 推進計画書

重点項目⑥ICT化の推進

1. 担当課及び推進計画名

担当課	推進計画名
学校教育課	試験採点ソフトの導入

2. 計画の概要

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の定期試験の採点は手作業、手計算で行われており、1クラスあたりの採点時間が約2時間、観点別に集計して結果を入力するのに約1時間、合計で3時間ほど採点業務に時間を割かれている現状がある。 ・教員にとってこれらの採点業務に係る業務負担は大きく、生徒と向き合う時間の減少につながっていることもある。 ・生徒一人一人が試験でつまづくポイントは異なり、教員がそれを全て把握し、個に応じたフィードバックをすることは非常に困難である。
計画の内容と目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ・試験採点ソフト(ブラウザ完結型)を導入し、AIの自動採点における正誤判定や得点集計作業の効率化、正確性の向上により、採点業務時間の削減を図る。 ・このことにより、教員がゆとりをもって生徒一人一人としっかり向き合う時間を確保することにより、より豊かな学びを行うことが可能になると考える。 ・また、試験採点ソフト内の解答分析機能を活用し、誤答に応じた適切なフィードバックを生徒に行うことで、個別最適な指導の充実を目指す。

3. スケジュール及び実績

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
当初スケジュール	—	—	—	—	—	実施・完了
実績	—	—	—	—	検討・準備	

4. 令和6年度の進捗状況

進捗状況	取組実績(※)
B	令和6年度は無料トライアルのみを行った。無料トライアル後に各校へヒアリングを行った結果、「課題解決に対して効果的である」との意見が多く得られ、令和7年度の新規導入を決めることができた。
財政効果額	
千円	
令和7年度を取組目標	
	<ul style="list-style-type: none"> ・試験採点ソフトを中学校5校に導入し、定期試験等の採点において活用を始める。 ・学校教育課主催の情報主任会において、効果的な活用方法について情報を共有する。

◆進捗状況の基準

-	「実施・完了」、「継続実施」の計画
A	予定以上に進んでいる。
B	予定通りに進んでいる。
C	予定より遅れているが、最終年度までには完了・実施が可能と思われる。
D	予定より遅れており、現段階では計画の完了・実施が難しい。

※「継続実施」の計画は、「実施・完了」時の内容も合わせて記載すること。